

## 【情報公開文書】

2022年5月18日作成

Ver.1.5

研究課題名	長崎における切除不能・進行再発大腸癌に対する治療戦略 ～conversionの追求と高齢者・frail症例の対策のための観察研究～
所属（診療科等）	長崎大学病院 大腸・肛門外科
研究責任者	小林 和真（講師）
研究分担者	長崎大学病院 肝胆膵外科・肝移植外科 松隈 国仁（医員）
研究機関	この研究は長崎大学病院のみで実施します。
研究期間	2020年8月18日～2032年12月31日
研究目的と意義	本研究は患者さんのカルテ情報を用いて、切除不能・進行再発大腸癌に対する化学療法の治療効果や副作用の発現率を解析するもので、本研究を行うことで、多くの切除可能症例を得るための至適化学療法レジメン（メニュー）や、また切除不能ならば生活の質をできるだけ保てるようにする戦略を立てるのに役立ちます。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 切除不能進行・再発大腸癌の患者さんで2006年1月1日から2030年12月31日までに長崎大学病院大腸・肛門外科で化学療法を最低1コース施行した患者さん</p> <p>●利用する情報 ①患者さんの背景：性別、年齢、ECOG-PS、原発巣、患者状態（進行 再発） 再発・転移部位と大きさ、手術日と手術内容、術後補助化学療法の期間とレジメン、既往化学療法の期間とレジメン、RAS 遺伝子・BRAF 遺伝子、UGT1A1 遺伝子多型</p> <p>②自覚所見 ③臨床検査 ④感染症 ⑤腫瘍マーカー ⑥画像検査 ⑦抗腫瘍効果 上記の詳細な項目が知りたい方は、下記の研究担当者にお尋ね下さい。</p> <p>●研究の概要・方法 上記のカルテ情報を用いて、conversion率（手術移行率）、奏効率（CR+PR割合）、病勢コントロール率（CR+PR+SD割合）、組織学的効果、レジメン別無増悪生存期間、全生存期間、有害事象について検討しま</p>

	す。
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：小林 和真（講師）、松隈 国仁（医員） 長崎大学大学院 移植・消化器外科 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095-819-7200（代表） 095-819-7316（移植・消化器外科 医局） 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>